

◆委員会報告

防災管理委員会

【目的】

防災管理に関する種々の問題を検討し、防災管理体制の充実並びに適正な運営を図る。

【委員会構成】

医師1名、看護師7名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、理学療法士1名、管理栄養士1名、事務員3名

【内容】

- ・消防訓練
消火器を使用した訓練
実施日：4月2日(木)
11月4日(水)
- 避難訓練
実施日：4月3日(金)
11月5日(木)
- 消防設備点検
実施日：8月24日(火)
実施業者：日本管財株式会社

医療ガス安全管理委員会

【目的】

医療ガスに関する種々の問題を検討し、医療ガス管理体制の充実及びに適正な運営を図る。

【委員会構成】

医師1名、看護師2名、臨床工学士1名、事務員2名

【内容】

- ・医療ガス設備点検について
実施業者：内村酸素株式会社
実施日：7月24日(金)～7月25日(土)
- ・医療ガス機器更新について
- ・医療ガスボンベ病棟保管分の在庫管理について

衛生委員会

【目的】

職員の健康と衛生を確保するための管理を行なうことを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師1名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、事務員2名

【内容】

採用時健康診断実施
職員家族健康診断実施
特定業務従事者健康診断実施
B型肝炎ワクチン接種実施
インフルエンザ予防接種実施
定期健康診断実施

院内感染対策委員会

【目的】

院内感染に関わる対策を協議し、施設内の感染状況を把握し感染予防を推進する。

【委員会構成】

医師3名、看護師4名、薬剤師2名、臨床検査技師2名、診療放射線技師1名、理学療法士1名、言語聴覚士1名、事務員2名

【内容】

1. 感染レポート(月報、年報)の集計、発行、確認。レポート内容：部位別病棟別培養分離菌・感受性率・耐性菌動向・入院時MRSAスクリーニング・抗酸菌動向。
2. 院内の感染症対策(外来待合室、処置室等の室内空間、備品設備等、手技的なもの、事故発生時の対応策、ワクチン接種等の予防策)。
3. 感染サーベイランスへの取り組みについてのデータ整理。
4. 抗菌薬使用実績報告。
5. ICT活動の支援。
6. マニュアル策定、改訂審議。
7. 感染対策に対する全職員向け教育活動(講演・実技講習会 年2回、ポスター啓蒙活動)
8. 緊急事態(アウトブレイク発生時)への対処(ノロウイルス・インフルエンザウイルス・耐性菌)。
9. ICT活動 病棟回診(毎週火曜午後)と回診後のカンファレンスを別に実施。
10. ICT活動 各部署の環境ラウンド(病棟回診時)。
11. ICT活動 院外感染対策カンファレンスへの参加(年4回開催)。
12. 院外施設への院内感染症対策研修会の案内(年2回実施)。

医療事故防止対策委員会

【目的】

医療事故予防・再発防止対策ならびに発生時の適切な対応など、本院における医療安全体制を確立し、適切かつ安全な医療、及び患者中心の医療サービスの提供をはかることを目的とする。

【委員会構成】

医師3名、看護師5名、薬剤師1名、臨床検査技師2名、事務員2名、リハビリ2名、診療放射線技師1名、栄養士1名

【内容】

1. インシデント・アクシデントレポートの報告・分析
インシデント・アクシデント報告件数 年間 237件
2. インシデント・アクシデント防止のための対策
 - ・ポンプ使用の適正手順の遵守
 - ・転倒防止パンフレットの作成
 - ・指示受けルールの遵守と多部門との協力
3. 針刺し事故防止対策
 - ・新人看護師の末梢静脈点滴開始時、指導等を行う。
4. 新人教育 新人教育研修 医療事故防止と院内感染対

策

- ・各部門を含めて新入職員への安全管理の教育をおこなう。
- 5. 車椅子の管理・点検
 - ・車イス管理システムを用いて徹底した管理を行う。
- 6. 小委員会の開催（毎月第2月曜日）
- 7. 全職員向け医療事故防止対策研修会の実施
 - ①9月3日
 - ・2014年度インシデント・アクシデント報告
 - ・薬剤の医療安全情報提供・車椅子の管理に関して
 - ②3月9日、23日
 - ・RCAを用いたグループワーク
- 8. 委員会メンバーの研修会参加・報告
 - ・済生会本部医療安全推進会議参加
 - ・九州山口医療安全マネジメント学会総会参加
 - ・その他医療安全に関する研修会等参加
- 9. 院外からの事故報告の情報収集と職員への周知
 - ・病院機能評価機構より
 - 「電気メスによる薬剤の引火」「誤った患者への輸血」
 - 「パニック値の緊急連絡の遅れ」「アドレナリンの濃度間違い」
 - ・医療機器薬品安全情報 Pmda より
 - 「薬剤投与ルートへの取り扱いについて」「三方活栓の取り扱いの注意について」
- 10. インシデントレポートの登録手順の周知
- 11. 「患者安全推進ジャーナル」を図書室へ

輸血委員会

【目的】

安全で適正な、輸血療法を推進する。

【委員会構成】

医師3名、看護師4名、薬剤師1名、臨床検査技師2名、事務員2名

【内容】

1. 月末院内在庫数・月間使用数の報告
2. 輸血副作用発生の監視、報告
3. 輸血に関わる医療事故防止策の策定
4. 適正使用への働きかけ
5. 運用体制の確立、業務の見直しに係わる協議、策定
6. 院内各部署からの問題点への審議と答申

【輸血用血液製剤の年間使用数と破棄率】

- ・RBC（WRC含む）2単位 使用数226本（452単位）
前年度215本（430単位）
- ・RBC（WRC含む）2単位 破棄数6本（12単位）破棄率2.58%
前年度14本（28単位）破棄率6.61%

製剤名称	血液型	2014年度 年度末 在庫	入庫数	破棄数	使用数	2015年度 年度末 在庫
照射赤血球濃厚液-LR 2単位	A+	0	70	1	69	0
	A-	0	1	0	1	0
	O+	0	51	2	49	0
	B+	0	59	1	57	1
	AB+	1	40	1	40	0
小 計		1	221	5	216	1
照射洗浄赤血球液-LR 2単位	A+	0	7	1	6	0
	O+	0	1	0	1	0
	B+	0	1	0	1	0
	AB+	0	2	0	2	0
小 計		0	11	1	10	0
新鮮凍結血漿-LR-480		0	0	0	0	0
小 計		0	0	0	0	0
照射濃厚血小板-LR/10 単位		0	0	0	0	0
小 計		0	0	0	0	0
総 計		1	232	6	226	1

栄養管理・NST委員会

【目的】

栄養管理業務・NST活動に関する事項について検討、対策を行うことを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、言語聴覚士2名、理学療法士1名、作業療法士1名、管理栄養士1名

【内容】

- ・委員会の開催（毎月第2木曜日）
- ・NST回診の実施（毎週月曜日）
- ・NST勉強会の開催
 - 5月：栄養の基礎（甲斐医師）
 - 6月：症例検討「摂食嚥下に関わった症例」（角岡看護師）
 - 7月：栄養管理計画書について（益田管理栄養士）
 - 9月：症例報告「経管栄養から経口栄養へと移行できた症例」（中田看護師）
 - 11月：食事介助のコツ（平ノ上言語聴覚士）
 - 12月：摂食・嚥下評価に関して（松崎看護部）
 - 1月：生化学的栄養指標に関わる検査値推移の報告（鬼塚検査技師）
- ・全職員対象研修会開催
 - 日時：10/20（火）18:00～19:30
 - 内容：歯の衛生・歯周病に関して
 - 講師：医療法人美洋会 みすみ歯科クリニック
院長 古田 洋介 先生
- ・歯科医院主催の勉強会への参加
- ・摂食・嚥下マニュアルの改訂
- ・給食管理業務に関する事項についての検討、対策
- ・栄養補助食品等の試食会の開催
- ・学会発表報告
 - 第19回日本病態栄養学会
 - 第31回日本静脈経腸栄養学会

褥瘡管理委員会

【目的】

褥瘡管理業務に関する事項について検討、対策を行うことを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師5名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、管理栄養士1名、作業療法士1名

【内容】

- ・委員会開催（奇数月：第2金曜日）
- ・褥瘡回診の実施（毎週：金曜日）
- ・褥瘡発生状況の確認（有病率と推定褥瘡発生率の算出）とスタッフへの伝達
- ・委員会内での褥瘡保有者に関する症例検討（2回/年）
- ・褥瘡対策に関する診療計画書内容の検討と改訂
- ・褥瘡に関する院内勉強会開催（1月）、「身体にかかる圧の影響と対策」（株）モルテンのメディカルサポート勉強会）
- ・褥瘡管理に関する必要事項の見直し、検討、対策の立案
- ・マットレスの管理・運用

救急運営委員会

【目的】

救急医療を円滑に運営するための対策案の検討とそれを実施する為協議検討することを目的とする。

【委員会構成】

常勤医師全員、研修医、看護師長全員、薬剤師1名、検査技師1名、放射線技師1名、事務1名

【内容】

- ・救急患者数の動向
- ・C P A 死亡患者・ヘリコプター搬送患者の症例検討
- ・救急医療実施上の問題点の検討
- ・救急法講習会の開催

臨床検査検討委員会

【目的】

臨床検査の適正化及び効率の運営を目指すために、精度管理、具体的事項について研究審議し、関係各部署間の情報伝達並びに連絡調整を図る。

【委員会構成】

医師1名、看護師1名、臨床検査技師3名、事務員1名、検査部検査室員（オブザーバー）

【内容】

- ・検査室の運用に関する事項
- ・臨床検査精度管理調査報告
- ・日常検査、当日直時の迅速検査に関する事項
- ・機材機器の整備購入、保守点検に関する事項
- ・検査試薬選定、購入及び基準範囲設定に関する事項
- ・保険点数審査請求に関する事項

- ・セット検査群の組み方についての検討
- ・看護部勉強会、出前・健康講座についての検討
- ・電子カルテ運用に関連した事案について検討と関連部署間の調整
- ・時間外、年末年始等の臨時検査に関する事項
- ・検査技術講習に係わる運用事項
- ・新病院に向けての「理念・基本方針」に関する検討

診療情報管理委員会

【目的】

診療情報の適切な管理により診療、調査研究、教育、法的資料、情報開示などの資料として有用に利用することで、安心・安全で質の高い医療の実現を図る。

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務3名

【内容】

- ・診療記録開示（5件）
- ・診療録監査の実施（月1回）と医師へのフィードバック
- ・診療録監査の評価項目追加
- ・D P C コーディングについて
- ・D P C N A V I 入力項目についての確認
- ・死亡退院患者の地域がん登録依頼と遡り調査票の作成
- ・全国がん登録について
- ・診療録の管理（外来カルテの保管場所移動）
- ・書庫保管書類管理（廃棄処分）

医療倫理委員会

【目的】

医療倫理問題に関する審議・上申を行う。

【委員会構成】

医師2名、看護師3名、薬剤師1名、理学療法士2名、医療ソーシャルワーカー1名、事務員2名

【内容】

- ・計12回開催
- ・医療現場で生じている「倫理的問題」を議論
- ・全職員向け医療倫理研修会の開催（講演、患者の権利の周知、DVD上映など）
- ・研究における倫理的内容の審議
- ・職員および地域住民に対しての事前指定書の周知

薬事審議委員会

【目的】

医薬品の採用等に関する審議・上申を行う

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員2名

【内容】

- ・計11回開催

- ・新規採用（15品目）
- ・ジェネリック医薬品へ切替（16品目）
- ・医薬品の適正使用の推進
- ・院外および院内における副作用等の報告・情報共有
- ・電子カルテを有効活用した医薬品の安全管理

診療機材購入検討委員会

【目的】

医療機器・診療材料等、診療にかかわる機材購入を審議

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、臨床検査技師1名、事務員3名

【内 容】

- 医療機器等導入実績
 - 内視鏡一式更新（V P P）、血液ガス分析装置、尿自動分析装置 他
- 高額修理・保守契約 等検討
 - エコー修理、生化学自動分析装置点検契約、ガス滅菌機オーバーホール検討 等
- 診療材料導入実績
 - 環境クロス（セイフキープ）の導入 他
- 次年度整備計画
 - 電気メス（内視鏡室）、シリンジポンプ、輸液ポンプ、医用テレメータ・ベッドサイドモニタ、T C I ポンプ、洗浄機 他

外来検討委員会

【目 的】

外来診療業務を円滑に運用し外来患者の顧客満足度を向上するために、外来診療業務に関する事項を検討・実施することを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師1名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、臨床検査技師1名、リハビリスタッフ1名、事務2名

【内 容】

- ・外来患者待ち時間調査（10月）
- ・外来患者満足度調査（10月）
- ・外来待ち時間・満足度調査結果の報告（4月朝礼）
- ・待ち時間の短縮および有効利用についての検討
- ・各部署からの問題事項に対する検討
- ・外来意見箱の問題事項に対する検討

回復期リハビリテーション病棟運営委員会

【目 的】

回復期リハビリテーション病棟の業務を円滑に運用し、他部門との連携を良好に保つために、その運営方法について考える。病棟運営において病床管理を支援し、回復期リ

ハビリ病棟の健全な運営を考える。リハビリテーションに関わる医療・看護・介護の質の向上を図ることを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師2名、リハビリテーションスタッフ3名、医療ソーシャルワーカー1名、医事1名 事務1名

【内 容】

- ・計12回開催
- ・回復期リハビリテーション病棟における課題に対しての話し合い検討の実施
 - （85歳以上の6単位制限者に対する対応、早出・遅出について、直接入棟に関してのデータ収集・注意点に向けての話し合い）
- ・後方連携強化の為に退院時の介助・介護方法の指導の実施。
- ・退院者に対して健康フェアの参加に向けての活動企画・実施。
- ・脳卒中患者等に対する自動車運転再開に対するマニュアルの作成・検討
- ・家族会発足に向けての話し合い
- ・脳卒中連携バスの参加
- ・回復期病棟実績報告の協力
 - 全国回復期リハビリテーション病棟協議会・厚生労働省ほか
- ・研究発表
 - 1) 新谷大輔
 - 「高齢化率30%を超える2025年問題に直面している高齢過疎地域の回復期リハビリテーション病棟の挑戦～回復期病棟60日オペレーション～」
 - 6月5日、第50回日本理学療法学会大会（場所：東京フォーラム）
 - 2) 財津岳士
 - 「熊本地区における脳卒中治療成績の実勢」～回復期リハ病棟におけるF I M利得に影響する因子の分析～」
 - 1月30日、第27回 回復・維持期リハを考える会
 - 第25回熊本脳卒中地域連携ネットワーク研修会（場所：市民会館崇城大学ホール）
 - 3) 酒井麻奈美
 - 「回復期リハ病棟における集団リハの取り組み～病室・病棟生活の変化に着目して～」
 - 2月14日、熊本県作業療法学会（場所：熊本県熊本市）

医療サービス向上委員会

【目 的】

病院全体、各部署、委員会の「医療サービスの質向上に関する項目」について横断的に情報収集・ヒアリングを実施し、評価や改善に向けた提案等を行い、医療サービスの向上を図ることである。

【委員会構成】

医師1名、看護師3名、理学療法士1名、作業療法士1名、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、事務員1名、医療ソーシャルワーカー1名

【内 容】

- ・あいさつ運動の実施（7/13～7/27・2/8～2/19）の年2回開催）
また身だしなみチェックとして委員が各部署ラウンドを行った
- ・ご意見箱の掲示、院内周知
（2005年12月より運用開始。患者のクレームに対する回答を院内に掲示。投書件数は24件であった。）
- ・患者満足度調査の実施（退院患者を対象にアンケート実施し、朝礼にて集計結果を報告する）
- ・患者説明室アメニティの改善（掲示物の変更、季節の小物の設置）
- ・接遇研修を実施（8/18・8/26…全職員を対象に院内接遇研修を実施）

教育委員会

【目的】

全職員を対象にした研修会・勉強会等に関する事項を検討・実施することを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、診療放射線技師1名、理学療法士1名、事務員2名

【内容】

1. 全職員に対して、以下の研修会・講習会を実施した
 - ①階層別研修会
 - ・新入職員研修会（新入職員）
 - ・主任・係長研修会（幹部・リーダー研修会参加者除く係長・主任）
 - ・幹部・リーダー研修会（幹部・医師・所属長）
 - ②全職員を対象とした研修会
 - ・認知症対応能力向上研修会（6.5・7.24）
 - ・救急法講習会（6.17・24）
 - ・行動計画発表会（7.2）
 - ・院内感染対策研修会1回目（7.1・8）、院内感染対策研修会2回目（12.2・9）
 - ・無低なでしこプラン研修会（7.28）
 - ・接遇研修会（8.18・26）
 - ・医療倫理研修会（9.17）
 - ・医療安全研修会1回目（9.2）、医療安全研修会2回目（3.9・23）
 - ・院内暴力・クレーム対応研修会（10.29）
 - ・合同症例発表会（10.30・11.5）
 - ・医療倫理ビデオ鑑賞会（3.3・17）
 - ・個人情報保護研修会（3.14）
 - ③疾患に関する勉強会
 - ④OFF-JT研修
 - ・メンタルヘルス研修（5.10）
※2年目フォローアップ研修を兼ねる
 - ・ポジティブ研修（6.14）
 - ・情報整理研修（7.5）
 - ・リーダーシップ研修（8.9）

連携協議会

【目的】

関連医療・福祉機関との病診・病院連携を円滑に行うため、連携の実情を調査し、他の医療施設との連絡・調整を行う。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、作業療法士2名、医療ソーシャルワーカー2名、事務員1名

【内容】

- ・みすみ港祭り（7月25日（土）、参加人数76名）
- ・健康フェスタ
（10月25日（日）準備、運営等、来場者数1,107名）
- ・宇土郡市医師会主催ミニバレー・綱引き大会参加
（10月11日（土）、企画・練習・準備）
- ・クリスマスの集い開催
（12月19日（土）、三角小学校の生徒さん、大正琴の会ボランティア参加）、クリスマスの集いについてのアンケート実施・反省・検討
- ・みすみランラン駅伝（1月17日（日）、2チーム参加）
- ・生活支援連携協議会の開催・取りまとめ
（6月、1月の2回/年開催）
- ・院内ボランティア開始準備のためのアンケート調査
（健康フェスタ、院内各部署・委員会）

広報委員会

【目的】

病院の内外の広報に関する事項を患者及び住民・他の医療機関へ当院を広く知って頂くために広報誌・ホームページ等の作成・整備及び講演活動の計画・その他広報を検討・実施する。また、職員に対しての院内広報を行う。

【委員会構成】

医師1名（オブザーバー1名）、看護師2名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、臨床検査技師1名、言語聴覚士1名、事務員3名、医療ソーシャルワーカー1名

【内容】

- ・2014年報内容検討・校正・発行
- ・院内誌「済生くまもと」第92号、93号、94号内容検討・校正・発行
- ・患者向け院外誌「さいせい」第38、39、40号の内容検討・校正・発行
- ・院内掲示物チェック、指導
- ・みすみ病院HP更新チェック

職場改善委員会

【目的】

職員間のコミュニケーションを図り、現場の声を反映させて働きやすい職場作りをし、職員の処遇や福利厚生を考えていく

【委員会構成】

看護師4名、看護助手1名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、
臨床検査技師1名、管理栄養士1名、
リハビリテーション室3名、事務2名 計14名

【内 容】

職員意見箱に出された意見を病院側（担当部署・委員会等）
に報告・改善検討依頼

- ・職員の福利厚生に係る年間行事企画
- ・新入職員歓迎会（4月：トライコート）
- ・新入職員歓迎ボウリング大会（6月：宇土パスカワールド）
- ・戸馳海水浴場清掃活動&職員交流BBQ大会（9月：戸馳海水浴場）
- ・忘年会（前半：ニューオータニ、後半：ホテル竜宮）
永年勤続表彰伝達式も忘年会の中で実施
- ・開院記念日地域清掃活動（3月：天草パールラインマラソン大会コース周辺・三角西港周辺）

個人情報保護検討委員会

【目的】

個人情報保護方針、規定等を整備・実践し、患者さんの
個人情報及び職員の個人情報を保護することを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師1名、薬剤師1名、事務2名、MSW1名

【内容】

- ・個人情報保護監査（院内ラウンド）の実施（2/26）
- ・情報システム委員会と協働で個人情報保護についての研修会を実施（3/14）
- ・個人情報漏洩事例 2例について、委員会を招集し対策を管理会議へ上申した。
- ・朝礼において、個人情報漏洩の事例を発表し、注意喚起を行った。

緩和ケア委員会

【目 的】

緩和ケアに関する事項を検討・実施することを目的とする。

【委員会構成】

医師3名、看護師3名、理学療法士1名、作業療法士2名、
言語聴覚士1名、薬剤師1名、MSW2名、CM1名

【内 容】

1. 委員会の開催1回/月（第3金曜日）3月のみ震災のため未開催
2. 緩和ケア回診1回/週（祝日を除く月曜日）患者数：延べ200名
3. デスカンファレンス、緩和ケア症例検討会を6月、9月、11月の計3回実施
4. 委員会内で小テストを実施し、全職員に掲示板で問題配信後、1週間後に解答を配信（計5回）
5. 死亡退院患者の家族へのアンケート実施
発送：26名 回収：9名回収

6. 緩和ケアマニュアルの一部見直し

情報システム運営委員会

【目 的】

情報システムの安定稼働・運用・ガイドライン等に関する審議・上申。

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員4名

【内 容】

- ・電子カルテバージョンアップ（機能強化）作業（6月）
- ・次年度予算検討（12月） 介護システム導入、検体検査システム更新、医局PC更新 等

リハビリテーション広報プロジェクト

【目 的】

- ・当院におけるリハビリテーション機能を急性期病院また、地域へ広く広報していく
- ・急性期病院また、地域の医療機関との連携を強化する
- ・リハビリテーションに関わる医療・看護・介護の質の向上をはかる

【委員会構成】

医師1名、MSW2名、理学療法士3名、作業療法士4名、
言語聴覚士1名

【内 容】

- ①継続して急性期病院または他院からの転入患者に対して、
リハビリ経過報告書の送付
・2015年度リハビリ経過報告書総数：
273通（内訳入院又は入棟95通、退院時177通）
・病院別送付数：済生会熊本病院144通、天草地域医療センター27通、熊本中央病院10通、熊本医療センター6通、熊本赤十字病院6通、熊本大学医学部付属病院11通、中村医院6通、宮崎外科胃腸科医院6通、他
- ②前方連携の強化を行うに当たり、地域連携室への転帰報告書（経過報告）を新規作成し送付件数：24通（内訳：天草地域医療センター16通、熊本中央病院2通、熊本労災病院、熊本機能病院、他）
- ③医療機関（特に急性期病院）と一般市民（主に出勤・講座）に向けた広報誌の作成及び配布
- ④院内でのリハビリ広報としてポスター掲示
- ⑤出勤・講座でのリハビリ広報メニューの講座実施。及び講座時の広報誌の配布アナウンスの実施
- ⑥前後方連携機関への挨拶回り：広報誌配布、PR活動

QC大会実行プロジェクト

【目 的】

QC活動を介して職員間の交流を図り、業務・改善を促すことを目的とする

【委員会構成】

医師1名、看護師2名、臨床検査技師1名、
診療放射線技師1名、理学療法士1名、事務員3名

【内 容】

1. 第6回Q C大会を実施した
①Q C活動報告書提出締切 1月31日
②第6回Q C大会 2月17日
③結果発表および表彰式 3月 1日
(開院記念日)

最優秀賞：回復期リハビリ病棟

転倒転落予防サークル

優 秀 賞：KMKS (患者満足度を向上させよう)

オーディエンス賞：KMKS

(患者満足度を向上させよう)

特 別 賞：リスク“ゼロ”めざし隊

風通しの良いPT部門を目指して

～他已紹介を導入して～

【外来ブース】お薬・栄養相談、健康相談、医師・看護師なりきり撮影体験、おむつ紹介、注射体験、心電図体験、介護体験(上天草高校)、事前指定書、みすみ歯科クリニック、リサイクルバザー

【放射線、健診ブース】乳がんコーナー(触診体験)、プチ健診、手洗いチェックコーナー、アロマ足浴コーナー、ハンドマッサージ、放射線測定体験

【オレンジホール】外科手術体験、BLS体験、内視鏡体験、超音波検査体験、動脈硬化測定体験、リハビリ体験

【テニスコート】長縄跳び大会、バルーン遊具、ミニSL、救急車、ポンプ車

【出店】三角商工会(石焼きイモ、かき氷、イカ焼き、いなり)サンサンうきっ子(地産品、弁当、野菜詰め放題)

済生会熊本県支部(カレー、豚汁、ジュース) 済生会熊本福祉センター(焼きそば、手作りパン) みすみ病院職員(たこめし、唐揚げ、フランクフルト、焼き鳥、はし巻き、フライドポテト、綿菓子) 吟将製菓

社会福祉推進事業プロジェクト

【目 的】

済生会生活困窮者支援事業の計画・運営にあたり、院内・院外との連携を深め円滑に業務を遂行するための諮問機関として活動を行うことを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師1名、作業療法士1名、
医療ソーシャルワーカー3名、事務員2名

【内 容】

- ①無料低額診療事業推進に関する検討
- ②生活困窮者支援事業(なでしこプラン)に関する検討

健康フェスタプロジェクト

【目 的】

地域住民(子供、大人、高齢者)に病院を知っていただく機会を作り、地域住民の健康意識の向上と病院のPR、患者増を目的に、職員一丸となって取り組む

【委員会構成】

医師2名、看護師4名、薬局1名、検査室1名、
放射線検査室1名、リハビリ室2名、栄養管理室1名、
医事室1名、医療相談室1名、事務員3名、事務局3名

【内 容】

- ・開催日：10月25日(日) 10:00～15:00
- 来場者数：1,107名
- 職員参加数：219名

(ボランティア、高校生、委託職員含む)

出演団体：理事長講演会、みすみ保育園、わかき保育園、
(敬称略) 健康づくり講演会(藤岡院長、庄野副院長、

田辺診療部長)、オハナ アロハ プア(フラダンス)、Uウインドオーケストラ(吹奏楽)、
長縄跳び大会、木村和也講演会、落語(三遊亭歌之介)、木村和也、倉田もえ(司会)

患者療養支援会議

【目 的】

当院の外来受診、入院中の患者又は家族からの疾病に関する医学的な質問や生活上及び入院中の不安など、様々な相談に対応し、患者さんが抱える治療、療養上の問題解決を目的とする。

(相談内容の具体例)

1. 治療に関する相談、不安や苦情、要望などに関する相談。
2. ガンに関する様々な相談。
3. 他の医療機関への受診・転院に関する相談。
4. 医療費の心配、福祉制度の利用などに関する相談。
5. 自宅退院時、訪問看護や介護保険サービス利用についての相談。
6. 個人情報に関する心配、苦情などの相談。
7. その他、入院や通院における心配事や困ったこと、当院に対する苦情、意見など。

【委員会構成】

医師1名、看護師1名、薬剤師1名、診療放射線検査技師1名、
臨床検査技師1名、作業療法士1名、管理栄養士1名、
医療ソーシャルワーカー1名、事務員2名

【内 容】

1. 相談窓口は1F総合受付に設置。(平日8:30～17:00)
2. 相談窓口の専任は医師・看護師・薬剤師・放射線技師・臨床検査技師・管理栄養士で構成。
3. 関係部署のスタッフは1/Wカンファレンス(患者療養支援会議)に参加し、相談内容と対応の状況を確認し協議し、その内容を毎月管理運営会議に報告する。
4. 患者等から相談を受けた場合の対応体制
①患者等から相談を受けた場合、その内容に関連するスタッフと随時相談し対応する。
②各部署で受けた場合、担当者(所属長)に相談し対応する。相談内容や対応の経緯については所定の書式に入力し、カンファレンスの議題とする。
5. 2015年度相談件数 33件

図書委員会

【目的】

図書・図書室の運営状況（図書・図書室の環境・管理・活用）は決して十分ではない為、多職種のスタッフの意見を聞き、図書室の運営（環境、管理・活用、購入・予算の検討等）について検討・協議する。

【委員会構成】

医師1名、看護師1名、リハビリテーション室1名、診療放射線技師1名、事務員2名

【内容】

- ・図書環境充実のための検討（図書室の整理整頓、配置換え）
- ・図書の購入・予算についての検討（年間予算の確認、部署ごとの購入実績、全体の購入実績等）
- ・各部署定期購読分の種類の見直し（追加・削除について）
- ・文献検索システム導入の検討（次年度導入予定）

クリニカルパス委員会

【目的】

クリニカルパスの導入および、関連する事項について検討、対策を行うことを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師5名、薬剤師1名、事務員3名、リハ3名

【内容】

- ・勉強会の実施
- ・CKD教育入院導入の検討（2月～）
- ・パスの実施状況（2015/04/01～2016/03/31）
- ・大腸ポリペクパス実施件数：12件

働きやすい職場づくりプロジェクト

【目的】

職員が「働きやすい職場環境」の構築に向けて具体的な取組を検討する。最終的には、以下の点を目的とする。

- ・職員のニーズに合致した魅力的な職場環境を提供することにより、優秀な職員の離職防止、新規職員の獲得
- ・職員一人ひとりのモチベーションや生産性を高め、患者に提供する医療の質やサービスレベルを向上

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、臨床検査技師1名、管理栄養士1名、リハビリテーション室2名、事務4名 計15名

【内容】

- ・職員満足度調査及び看護部インデックス調査（看護協会）の結果の分析、アクションプランの検討
- ・各アクションプランの実施（過去3年間の主な活動）
 - ・時間外業務削減に向けた終礼の導入（看護部）
 - ・時間外申請基準、勤務表作成基準の検討（看護部）
 - ・申し送り時間の短縮、病棟間の応援体制、PHS整備による業務効率化（看護部）

- ・多忙時の病棟間応援体制の整備（看護部）
- ・申し送り方法の見直し・時間短縮（看護部）
- ・有給休暇取得率UPに向けた取得数の部署内で共有・見える化検討
- ・他部署へ協力できること、協力してほしいことの検討
- ・委員会・プロジェクト書記へのアンケート調査、開催時間の短縮・効率化のための周知活動
- ・休暇諸制度に関する全職員への認知度アンケート調査、周知用リーフレット作成
- ・プロジェクトの取組みを報告するWLB新聞の発行、スタッフ紹介のリレー新聞の発行
- ・職員交流を目的とした、シエスタでのイベント（クリスマス会）開催
- ・3年間の活動報告をまとめ、職員へ周知。その上で活動後の評価として、職員満足度調査を実施
- ・看護協会主催WLBワークショップへの参加、報告

取引形式選定委員会

【目的】

各部署及び診療機材購入検討委員会を含む委員会から上げられた伺いについて、取引形式を委員会規約内の判断基準により、一般競争入札・指名入札・随意契約など、決裁後の契約形式の判断を行う。

【委員会構成】

医師1名、臨床検査技師1名、理学療法士1名、事務2名

【内容】

- ・委員会開催 2回（取扱い件数 3件）
- ※2016年2月1日より委員会設置

病床管理会議

【目的】

1. 入・退院に関する事項及び一般病床・回復期病床・地域包括ケア病室の適正運用を推進するために協議し方向性を決定する。
2. 満床の場合の応需対策、空床の場合の患者確保や効率的運用対策など具体的施策の立案・調整を図る。
3. 病床利用率 85%以上を目指す施策を推進する。
4. その他病床運営に必要な事項を検討・実践する。

【委員会構成】

入院患者主治医の常勤医師、看護師5名、リハビリスタッフ4名、事務1名、医療ソーシャルワーカー4名

【内容】

- ・開催日 毎週水曜日 17:00～17:30

会議開催の前週の実績（病床稼働状況、各病床の病床利用率、平均在院日数、紹介・逆紹介件数の実績）を確認し、患者状況等に応じて回復期や地域包括ケア病室への転床を促している。これによって救急患者用のベッド確保、長期入院患者の把握等を行い、有効な病床利用と情報共有に向けた取り組みを行っている。